

3. 留学生センター教員研究活動報告

庵 功雄

著書

- (1) 『やさしい日本語のしくみ』（日高水穂、前田直子、山田敏弘、大和シゲミと共著）、くろしお出版 2003.10

論文

- (1) 「見えない冠詞」『月刊言語』36 - 43、10月号、大修館書店、2003.10

研究プロジェクト

- (1) 文部省科学研究費補助金基盤研究（C）（1）：対照研究の成果を生かした中国語母語話者向け日本語文法教材の開発（研究代表者）
(2) 文部省科学研究費補助金基盤研究（C）（2）：中国語母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発（研究分担者）

石黒 圭

論文

- (1) 「「のだ」の中核的機能と派生的機能」『一橋大学留学生センター紀要』第6号、3-26、一橋大学留学生センター、2003.7

研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）（2）：中国語母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発(研究分担者)

今村 和宏

研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）（2）：中国語母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発（研究分担者）

太田 浩

論文

- (1) “The International Student 100,000 Plan (Policy Studies)”, 『一橋大学留学生センター紀要』
6、27-51、一橋大学留学生センター、2003.7

学会発表

- (1) “The Examination for Japanese University Admission for International Students and Japan’s international student policy in the era of post International Student 100,000 Plan”. International Symposium on Japanese Studies and Japanese Language Education at City University of Hong Kong. November 6 -10, 2003.
- (2) 「日本留学試験の政策的考察」、日本国際教育学会、東京外国語大学、2004.4.3

研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 B (2) : 日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向～来るべき日本の留学交流戦略の構築～（研究分担者）
- (2) JAFSA-JICA 研究プロジェクト：国際協力における知のコラボレーションを目指して（研究分担者）
- (3) 国際交流基金プロジェクト：日本と海外のフェローシップ比較調査・研究（研究分担者）

河野 理恵

論文

- (1) 「大学院での『日本事情』教育—『日本人論』をとおして—」、『21 世紀の「日本事情」 - 日本語教育から文化リテラシーへ』第 5 号、96-109、くろしお出版、2003.12

事項執筆

- (1) 「日本事情」、『日本語教育能力検定試験 第 13 回～第 15 回 傾向徹底分析問題集』214-216、アルク、2003.6

教科書

- (1) 『留学生のための日本語・日本事情教科書 社会科学への道しるべ - 増補改訂版 - 』（渡辺雅男、松岡弘、五味政信、呉冬青、杉田くに子と共同作成）、一橋大学学術日本語シリーズ 9、一橋大学留学生センター、2004.3.

五味 政信

教科書

- (1) 『留学生のための日本語・日本事情教科書 社会科学への道しるべ - 増補改訂版 - 』（渡辺雅男、松岡弘、河野理恵、呉冬青、杉田くに子と共同作成）、一橋大学学術日本語シリーズ9、一橋大学留学生センター、2004.3.

研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）(2)：中国語母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発（研究代表者）

三枝令子

著書

- (1) 『日本語文法演習 話し手の気持ちを表す表現 - モダリティ・終助詞 - 』（中西久美子と共著）スリーエーネットワーク 2003.10
(2) 『日本法への招待』（松本恒雄、橋本正博、青木人志と共編）有斐閣 2004.1

論文

- (1) 「「だろう」の意味と働き - 助動詞から終助詞まで - 」『一橋大学留学生センター紀要』6、63-76、一橋大学留学生センター、2003.7

報告書

- (1) 『日本語能力試験の概要 2003 年版（2002 年度試験結果の分析）』（野口裕之、青木惣一他5名と共著）、国際交流基金（財）日本国際教育教会、2004.3
(2) 『平成14年度日本語能力試験分析評価に関する報告書』（野口裕之、青木惣一他5名と共著）、国際国際交流基金（財）日本国際教育教会、2004.3
(3) 『日本語 Can-do-statements 尺度の開発』平成13年度～平成15年度科学研究費補助金（基盤研究B1）研究成果報告書 2004.3

学会発表

- (1) *Validating Japanese Language Can-do-statements*. Sukero Ito, Soichi Aoki, Mako Aoyama et al, 32, 25th Language Testing Research Colloquium, The University of Reading, UK 2003. 7
(2) 「日本語 Can-do-statements の開発」『日本行動計量学会 31 回大会発表論文抄録集』102-105、名城大学 2003.9
(3) 「日本語教育機関における Can-do-statements 調査の活用方法」『2003 年度日本語教育学会 秋季大会予稿集』119-124（島田めぐみ、青木惣一他4名と共著）、大阪大学 2003.10

研究プロジェクト

- (1) 科学研究費補助金 基盤研究（B）(1)「日本語 Can-do-statements 尺度の開発」（研究代表者）

鶴田 庸子

論文

- (1) 「敬語を使うとどのようなポライトネスが伝わるのか：発話内効力管理領域のポライトネスとの違い」17-38、International Journal of Pragmatics 13 号、日本プラグマティックス学会、2003.10

中本 進一

論文

- (1) 「留学生アイデンティティの文化論的分析」88 - 106、一橋論叢(第 129 巻)、2003.4
(2) 「ハイ・カルチャー / ポピュラー・カルチャーにおけるヘゲモニーの転換と領有に関する一考察」103 - 130、一橋法学第 2 巻第 3 号、2003.11

学会発表

- (1) 「グローバリズムにおけるオルタナティブ・ツーリズムの明暗」日本国際文化学会・第 2 回全国大会、早稲田大学国際会議場、2003. 7. 5

研究プロジェクト

- (1) 国際交流基金プロジェクト：日本と海外のフェローシップ比較調査・研究(研究分担者)

西谷 まり

論文

- (1) 「ベトナム人日本語学習者の外国語不安」一橋大学留学生センター紀要第 6 号、77-89、2003. 7 (松田稔樹と共著)
(2) Alleviation of language anxiety among learners of Japanese through debate activity. Proceeding of the 34th Annual Conference of the International Simulation And Gaming Association, 171-180, International Simulation And Gaming Association(ISAGA)、August,2003

一般誌掲載論文

- (1) 「国際プログラムの連携と日本語教育への影響」留学交流 Vol1 6 .No.3、6-9、発行：ぎょうせい、2004.3

学会発表

- (1) Alleviation of language anxiety among learners of Japanese through debate activity. 34th Annual Conference of the International Simulation And Gaming Association, August 28,2003

研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2)：中国語母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発(研究分担者)

松岡 弘

論文

- (1) 「コメニウスの言語教育思想の継承者 - 十九世紀から二十世紀にかけてのチェコの第二言語教科書 - 」『一橋論叢』第 131 巻第 3 号、1 - 24、一橋大学一橋学会、2004.3

書評

- (1) 「H.グリュック/H.クラッテ/V.スパーチル/L.スパーチロヴァー著『15 世紀より 1918 年に至るまでのボヘミア並びにモラビアにおけるドイツ語教科書』」『言語文化』第 40 巻、61 - 68、一橋大学語学研究室、2003.12

教科書

- (1) 『留学生のための日本語・日本事情教科書 社会科学への道しるべ - 増補改訂版 - 』（渡辺雅男、五味政信、河野理恵、呉冬青、杉田くに子と共同作成）、一橋大学学術日本語シリーズ 9、一橋大学留学生センター、2004.3.

横田 雅弘

論文

- (1) 「メディアのもたらす摩擦と誤解」異文化間教育学会編、『異文化間教育』18、68-80、アカデミア出版会、2003.7
- (2) 日本人フルブライトの留学評価に関する研究～日本の留学生制度が学ぶもの～』、日米フルブライト交流計画 50 周年記念事業実行委員会、1-39（及び資料 1-13）、2003.8（白土悟、坪井健、工藤和宏、海谷千波 と共著）

一般誌掲載論文

- (1) 「日本の国際教育交流と JAFSA の役割」、『季刊桜門春秋』、日本大学、47-55、2004.1 学会発表
- (1) 「日本の留学生受け入れ制度はどうあるべきか～日米フルブライト 50 周年記念調査を踏まえて～」、第 24 回異文化間教育学会大会発表抄録、12-13、2003.5

研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 B (2)：「日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向～来るべき日本の留学交流戦略の構築～」(研究代表者)
- (2) JAFSA-JICA 研究プロジェクト：国際協力における知のコラボレーションを目指して (JAFSA 側研究代表者)
- (3) 国際交流基金プロジェクト：日本と海外のフェローシップ比較調査研究（全体総括）

3. 留学生センター教員研究活動報告

教員の海外渡航

石黒 圭

- (1) 2004.3.6～3.11 中華人民共和国における日本語教師教育のニーズ調査
東北師範大学での学生インタビュー、国際交流基金北京事務所での情報収集
北京日本学研究中心の視察

今村 和宏

- (1) 2003.4.1～9.30 イタリアフィレンツェ大学 共同研究「イタリア母語話者への漢字教育」と自主ゼミ

太田 浩

- (1) 2003.9.8～9.21 文部科学省科学研究費補助金を受けている共同研究プロジェクト(日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向)の一環として、米国の留学交流戦略と高等教育サービスの国際的展開に関する調査
- (2) 2004.3.3～3.11 文部科学省科学研究費補助金を受けている共同研究プロジェクト(日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向)の一環として、香港、マレーシア、シンガポールの留学交流戦略と欧米豪大学のオフショア・プログラムに関する調査

五味 政信

- (1) 2003.12.25～12.28 中国北京市 国際共同研究センター関連業務
- (2) 2004.2.20～2.24 中国上海市 言語社会研究科関連業務

三枝 令子

- (1) 2003.7.23～7.28 英国 Reading 大学 国際言語テスト学会参加並びに発表

中本 進一

- (1) 2003.9.18～9.22 「日本留学フェア」(韓国ソウル・プサン)参加とソウル大表敬訪問

西谷 まり

- (1) 2003.9.22～9.28 ベトナムドンズー日本語学校にて日本語教師研修
- (2) 2004.3.6～3.11 中華人民共和国における日本語教師教育のニーズ調査
東北師範大学での学生インタビュー、国際交流基金北京事務所での情報収集
北京日本学研究中心の視察

横田 雅弘

- (1) 2003.9.6～9.15 文部科学省科学研究費補助金による共同研究プロジェクト(日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向)の一環として、豪州調査
- (2) 2004.3.3～3.11 文部科学省科学研究費補助金による共同研究プロジェクト(日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向)の一環として、香港、マレーシア、シンガポールの留学交流戦略と欧米豪大学のオフショア・プログラムに関する調査

科学研究費補助金

- (1) 研究題目：母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発
研究種目：基盤研究(C)(2) 平成15年度～平成18年度科学研究費補助金
研究代表者 五味政信(留学生センター)
研究分担者 西谷まり、庵功雄、石黒圭(以上、留学生センター)、今村和宏(経済学研究科)、張麟声(立命館アジア太平洋大学)
- (2) 研究題目：日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向～来るべき日本の留学交流戦略の構築～
研究種目：基盤研究(B)(2) 平成15年度～平成17年度科学研究費補助金
研究代表者：横田雅弘(留学生センター)
研究分担者：太田浩(商学研究科)、白土悟(九州大学留学生センター)、坪井健(駒沢大学社会学部)
- (3) 研究題目：日本語 Can-do-statements 尺度の開発
研究種目：基盤研究(B)(1) 平成13年度～平成15年度科学研究費補助金
研究代表者：三枝令子(法学研究科)
研究分担者：青木惣一(アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター)、伊東祐郎(東京外国語大学日本語教育センター)、大坪一夫(麗沢大学)、島田めぐみ(東京学芸大学留学生センター)、野口裕之(名古屋大学)、小柳かおる(上智大学)、孫媛(国立情報学研究所)
〔以上2003年度分担者〕
- (4) 研究種目：対照研究の成果を生かした中国語母語話者向け日本語文法教材の開発
研究種目：基盤研究(C)(1) 平成15年度～平成18年度科学研究費補助金
研究代表者：庵功雄(留学生センター)
研究分担者：井上優(国立国語研究所)、張麟声(立命館アジア太平洋大学)、森山卓郎(京都教育大学)

留学生センター関連出版物

- (1) 『一橋大学留学生センター紀要』6、一橋大学留学生センター、2003.7
- (2) 『留学生のための日本語・日本事情教科書 社会科学への道しるべ - 増補改訂版 - 』（渡辺雅男、松岡弘、五味政信、河野理恵、呉冬青、杉田くに子）、一橋大学学術日本語シリーズ9、一橋大学留学生センター、2004.3.
- (3) 『Bridges』19、一橋大学留学生センター、2004.3

一橋大学国際共同研究センター企画 国際研究シンポジウム

日中両言語における重なりと異なり ―日本語教育の現場から―

日時 2004年3月27日(土)午後1時～5時

場所 一橋大学小平国際キャンパス 国際共同研究センター 多目的ホール

開会挨拶 13:00～13:10 五味政信（一橋大学第4プロジェクト長）

基調講演 13:10～13:50 折敷瀬興（一橋大学国際共同研究センター長）

「辞書編纂を通して考えさせられたこと」

休憩 13:50～14:00

研究報告

1. 今村和宏（一橋大学）14:00～14:25

「社会科学分野における漢語語彙の特徴」

2. 西谷まり（一橋大学）14:25～14:50

「社会科学分野における日中同形異義語」

3. 桂玉植（中国・東北師範大学）14:50～15:15

「中国人日本語学習者の即興スピーチにおける誤用から見た母語の干渉」

休憩 15:15～15:30

研究報告

4. 石黒圭（一橋大学）15:30～15:55

「中国語母語話者の作文に見る副詞の使い方の特徴」

5. 張麟声（立命館アジア太平洋大学） 庵功雄（一橋大学）15:55～16:20

「日中両言語における文章レベルの異なり」

質疑応答 16:20～16:50

コメンテーター 定延利之（神戸大学）

司会 五味政信（一橋大学国際共同研究センター 第4プロジェクト長）